

浦浜・泊地区の復興まちづくりと被災跡地利用について

1. これまでと現在の取組

市・県では、浦浜・泊地区の早期復興に向けて各種復旧・復興事業に取り組んでいます。

■浦浜・泊地区における復旧・復興事業（位置等は「被災跡地土地利用実現化方策」参照）

区分	事業名	総事業費 (千円)	内 容	図上 番号	完了年次 (予定)	事業 主体
小学校	被災学校移転改築事業（越喜来小学校）	4,000,000	高台を造成し、越喜来小学校の整備を進めています。鉄筋コンクリート及び鉄骨造一部木造2階建、建築面積3,662㎡	①	平成28年度	生涯学習課
こども園	越喜来地区認定こども園整備事業		越喜来小学校の隣地に、幼稚園と保育所の一体施設である認定こども園の整備を進めています。木造平屋建、建築面積650㎡	②	平成28年度	
災害公営住宅整備	災害公営住宅整備事業（杉下団地）	307,278	災害公営住宅の整備を進めています。 杉下団地：木造平屋建5棟9戸、建築面積810㎡	③	平成27年度	住宅公園課
	災害公営住宅整備事業（所通団地）	642,820	所通団地：鉄筋コンクリート造3階建20戸、建築面積526㎡	④	平成27年度	
社会教育施設	社会教育施設復旧事業（三陸公民館）	891,540	被災した三陸公民館を復旧しました。	⑤	平成26年度	生涯学習課
高台移転（防集事業）	防災集団移転促進事業		居住が適当でない区域内にある住居の集団移転地の整備を進めました。			市街地整備課
		225,507	浦浜仲・西地区（10区画）	⑥	平成26年度	
		199,501	浦浜東・甫嶺地区（9地区）	⑦	平成26年度	
		260,684	浦浜南地区（11区画）	⑧	平成26年度	
		235,886	泊地区（13区画）	⑨	平成25年度	
道 路	まちづくり連携道路整備事業（一般県道崎浜港線）	700,000	越喜来地区の幹線道路として、計約1.6kmの区間を嵩上げし、2車線道路として整備します。	⑩	平成27年度	岩手県
	まちづくり連携道路整備事業（主要地方道大船渡綾里三陸線）	900,000	県道：延長=658m、幅員=10.0m 主要地方道：延長=952m、幅員=10.0m	⑪	平成27年度	岩手県
	道路新設事業（浦浜仲地区）	146,446	高台に建設する越喜来小学校への接続道路の整備を進めています。延長=496m、幅員=7.0m	⑫	平成27年度	建設課

区分	事業名	総事業費 (千円)	内 容	図上 番号	完了年次 (予定)	事業 主体
防潮堤	海岸保全施設復旧・整備事業（越喜来地区海岸）	5,210,000	被災した防潮堤の整備を進めています。（T.P.+11.5m）	⑬	平成27年度	岩手県
水産用地等の整備	漁業集落防災機能強化事業（嵩上げ）	489,200	集落の防災機能の強化を図り、安全な住宅地を確保するため、土地の嵩上げを進めます。嵩上げ面積27,000㎡	⑭	平成28年度	水産課
	漁業集落防災機能強化事業（浦浜地区）	46,100	土地の有効活用を図るための水産施設用地の嵩上げや道路改良を進めます。水産施設用地4,380㎡、集落道：延長=200m、幅員=6.0m	⑮	平成28年度	
	漁業集落防災機能強化事業（泊地区）	41,100	土地の有効活用を図るための水産施設用地の嵩上げや道路改良を進めます。水産施設用地4,230㎡、集落道：延長=200m、幅員=5.0m	⑯	平成28年度	
漁港の復旧	漁港関係施設等災害復旧事業（越喜来漁港）	4,059,000	被災した越喜来漁港の防波堤や岸壁、防潮堤等の整備を進めています。	⑰	平成27年度	岩手県
	漁港施設機能強化事業等（泊漁港）	95,731	地盤沈下した泊漁港用地の嵩上げ等を進めています。嵩上げ面積5,000㎡	⑱	平成27年度	水産課
農地の復旧	農地等の利用（農地復旧事業）	26,100	被災した農地の復旧を進めています。（一部復旧済）	⑲	平成27年度	岩手県

※T.P.（東京湾平均海面）とは全国の標高の基準となる海水面の高さのこと。海岸施設の高さは基準海面からの高さで表されます。

2. 被災跡地の買取り

市では、防災集団移転促進事業により一定の要件を満たす被災跡地の買取りを進めています。浦浜・泊地区における被災跡地の買取りは、次のように見込まれます。

■被災跡地の買取り（見込み）

区分	浦浜地区	泊地区
被災跡地数	97筆	25筆
被災跡地面積	37,108㎡	12,341㎡

3. 被災跡地(買取地)利用の取組

浦浜・泊地区の被災跡地(買取地)の利用にあたっては、地域と市が協働で次のように取り組んでいきます。

①買取地を活用した公共事業の推進

防災集団移転促進事業で買い取った土地を活用した復旧・復興事業を推進していきます。

浦浜・泊地区で計画している漁業集落防災機能強化事業の水産施設用地として、買取地を活用することを検討していきます。

②多目的広場の整備

越喜来小学校跡地(公共用地)と周辺の買取地を一体的に利用した多目的広場の整備を検討していきます。

広場の管理方法や組織・仕組みづくり等について、引き続き地域と検討を進めていきます。

③公共施設周辺の防災機能の強化

浦浜川左岸(三陸公民館西側)の安全性を高めるため、道路等の嵩上げについて検討し、関係機関と協議していきます。

④観光ルート整備

三陸駅から浦浜川を渡り三陸大王杉に至るまでの一連のルートを観光ルートとして位置付け、その整備内容を地域と市が協働で検討していきます。

また、浦浜川橋の整備について検討し、関係機関と協議していきます。

⑤買取地を活用するためのルールづくり

原っぱやポプラの樹広場等の用地は、地域の要望に応じて積極的かつ柔軟に市有地を活用できるよう、その利用に関するルールづくりを進めます。

また、広場や県道法面への植樹等、公共空間の管理を積極的に進めていくという地域の意向を踏まえ、円滑な活動を支える仕組みづくりを進めます。

■浦浜・泊地区における検討中の取組(位置等は「被災跡地土地利用実現化方策」参照)

区分	取組項目	取組の概要	図上番号
復旧・復興事業として 〔事業主体〕 市	浦浜川沿いの市道嵩上げ整備	平田橋付近から越喜来中学校方面へ通じる市道等の嵩上げを検討します。	Ⓐ
	浦浜川橋の復旧と市道改良整備	浦浜川橋の復旧と主要地方道から県道へ通じる区間の道路改良を検討します。	Ⓑ
	地元管理による多目的広場(緑地)の整備	越喜来小学校跡地周辺について、跡地を一体的に活用した多目的広場の整備を検討します。	Ⓒ
住民主体の取組として 〔事業主体〕 地域	雄滝・雌滝の遊歩道づくり	泊地区の防災集団移転住宅団地から雄滝・雌滝へ通じる遊歩道づくりを進めます。	Ⓓ
	三陸駅～ポプラの樹広場～三陸大王杉の観光ルートづくり	まちづくりの軸として、三陸駅～ポプラの樹広場～三陸大王杉に至る観光ルートづくりを進めます。	Ⓔ
	四阿(あずまや)の設置	防潮堤南側の主要地方道沿いの土地に四阿(あずまや)を設置します。	Ⓕ
	商店街整備	さんりくの園跡地へ本設店舗を建設し、商店街整備を進めます。	Ⓖ
	原っぱの整備	浦浜川橋から県道に至るルートの北側部分は、原っぱとして活用していきます。	Ⓖ
	ポプラの樹広場の整備	ど根性ポプラ周辺の土地を利用し、広場を整備します。	Ⓘ
	結いの道	海側・山側に分断された泊地区の集落を結ぶ道として、歩道の手直しを進めます。	Ⓙ
	結っ小屋	結いの道沿いに地域住民が集える小さなまちの拠点施設を整備します。	Ⓚ